

フォト

行事から



新時代の窯業教育を探る

— 第二十二回全国窯業教育研究大会 —

高等学校窯業教育の振興と研修を図る第二十二回全国窯業教育研究大会が、十一月二十日、二十一日、全国の関係者多数の参加のもとに、会津若松市で開催されました。

大会では、新しい技術教育の対応等に関する研究発表や研究協議、講演等が行われ、今後の窯業教育に実りある大会となりました。



▲盛大に開催された研究大会（会津若松市）

県国際交流活動 研修会開催

教育・科学・文化の国際交流活動をより一層振興するための研修会が十二月一日、二日いわき市文化センターで開催されました。

社会教育、学校教育、国際交流事業関係指導者及び外国人等百十二名が参加、シンポジウム、体験発表、研究協議会等の研修が行われました。



▲銀盤を滑べる選手たち（郡山市）

県総体

冬期（スケート）
競技各所で開催

冬期スポーツの華、スケート・スキートの県総体大会が各地で開催されている。

郡山スケートセンターでは、フィギュアスケート競技が開催、小・中・高校・一般選手が日頃の練習成果を銀盤上で競いあいました。



▲外国人を囲んで行われた研究協議会（いわき市）



▶地区のおとしよりにふるさとの昔話を聞く
（高郷村）

ふるさと文化 ふれあい教室開催

耶麻郡高郷村では、十一月十七日、地域のおとしよりと子どもたちがいっしょになって、郷土の自然や文化、地域の人々とのふれあいを豊かにする「ふるさと文化ふれあい教室」を開催しました。川井地区老人クラブの人たちから昔話や歌、昔の暮しのようすなどを聞き、楽しい一日を過ごしました。